

<h1>あかつか</h1>	新潟市立赤塚小学校 学校だより 平成29年度 第7号 発行日 29年11月吉日 TEL 025-239-2019 FAX 025-239-3803
---------------	--

保護者や地域の皆様へ

校長 若林 智之

平成29年度 赤塚小学校「1学期 学校評価結果」報告書

この報告書は、赤塚小学校教育ビジョンに示す今年度の重点的な取組について、1学期を振り返り、下記に評価の結果を保護者や地域の皆様へ報告するものです。

評価に際しては、児童アンケートや保護者アンケート、そして、職員による内部評価をもとに1学期を振り返り、2学期に向けての改善策を検討して参ります。

当校の教育活動につきましてご理解いただくとともに、今後もより一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

記

学力向上の取組について



〈基礎・基本の確実な定着を図る取組として〉

- 小中連携して、学習スキルやルールを自校化して定着を図ります。
※ 家庭では、お子様の学習部屋に「赤塚中学校区 学習スタンダード」や学年別「〇年赤塚小 家庭学習のススメ」が貼られているでしょうか。
- スキルタイムの充実を図り、個に応じた補充・発展的な学習に力を入れます。
※ 水曜日の放課後（や夏休みの3日間）には、継続的に支援しています。

〈思考力・判断力・表現力の育成を図る取組として〉

- 学力テスト(全国学テ:6年やNRT学テ:2年~6年)や「Web配信テスト」(年6回、国語・算数:3年以上)の結果を分析し、個別指導や授業改善に生かします。

※ H29全国学力・学習状況調査正答率(6年生が4月に実施しました。)

	国語A	国語B	算数A	算数B	平均
赤塚小H29(H28)	80(77.6)	66(62.9)	85(82.6)	52(52.0)	70.8(68.8)
新潟市H29(H28)	78(76.3)	61(61.3)	81(79.7)	48(49.1)	67(66.6)
新潟県H29(H28)	77(75.8)	59(59.6)	80(79.6)	46(47.7)	65.5(65.7)
全国H29(H28)	74.8(72.9)	57.5(57.3)	78.6(77.6)	45.9(47.2)	64.2(63.9)

※ 国語・算数(知識A, 活用B)とも全国平均や県平均を数ポイント上回り、確かな学力が身に付いている結果でした。

※ 赤塚小過去3年間のNRT学力テスト結果比較 ※太枠内が本年の結果

教科	2年生		3年生		4年生		5年生		6年生	
	国語	算数								
H27	49.0	50.6	51.1	50.9	57.2	58.6	54.1	55.0	53.1	50.9
H28	48.6	50.6	53.2	53.3	49.4	50.4	57.7	56.4	52.5	55.2
H29	53.3	52.4	53.0	53.1	51.3	53.8	49.7	51.2	55.1	55.3

※ 国語・算数の学力は、全学年において偏差値平均並又はそれを上回っており全国平均より高くなっています。(毎年4月に実施。数値は偏差値であり、50.0が全国平均となります。)

- 「対話的な学び」の実現を目指し、授業例を紹介し合い、検証したり、情報共有したりします。

※ 全担任が年1回授業公開を実施しています。1学期5回実施の他、新潟市総合教育センターの田中正栄指導主事からもご指導をいただきました。(7月)→



〈学ぶ意欲を高める取組として〉

- 自学力アップ週間(年4回)の取組や、赤塚の「家庭学習のススメ」を基に、全校体制で家庭学習・自主学習に取り組めます。

※ 毎日、お子さんは、家庭学習「学年×10分以上」を続けていますでしょうか？宿題以外の復習や予習などにも取り組んでいますでしょうか？読書はどうか？

〈学力向上の取組についての評価結果〉

項目数	教育活動・運営活動での取組と評価基準	実態	評価結果
①	□国語と算数のワークテストの定着度を70点以上の児童が90%以上(全校)	国語91.2 算数82.6	A B
②	□他者の考えや資料から分かることを基に、自分の考えを書いたり発表したりできる児童が80%以上(全校)	児童89.7 職員64.8	A C

〈2学期に向けて〉

- ◎ 各学年で実施されているワークテストで70点以上の児童の割合は、国語は全校平均で90%を上回りましたが、算数は下回ってしまいましたので、朝学習やスキルタイム等を有効活用して、きめ細かな指導を継続していきます。
- ◎ 発表にかかわる児童アンケート結果は高い数値でしたが、職員は、資料や自分の考えの理由付け等が不十分という見取りでした。さらに支援を継続していくよう心掛けます。
- ◎ 家庭学習に関する保護者アンケートでは、「『学年×10分以上』勉強している」という家庭が、84%でした。2学期は、100%を目指したいです。時間の目安は、「以上」とあるように下限です。今日学校で学習したことのより確かな定着を図ったり(復習)、明日習うことの音読や意味調べなど(予習)をすることで、授業と家庭学習のつながりができ、学習がより分かりやすくなったり、楽しくなったりしてきます。「今日やろうと決めたことが終わる家庭学習」になるよう、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



豊かな心の育成の取組について

〈進んであいさつしたり、思いやりの気持ちをもって行動したりできる児童の育成を目指す取組として〉

- 居心地のよい学級になるよう、話し合い活動を充実させ、学級の力を高めます。
※ 各学級による全校への挨拶運動や、学級力向上研修を生かした取組を実施しています。
- 各種の学校行事や児童会活動においては、めあてを立てること(事前指導)や振り返り(事後指導)の時間を保証します。
※ 児童の振り返りでは、「遊びタイムin佐潟」(6月)や「佐潟ウォークラリー」(9月)は、とても楽しかったとのこと。高学年リーダーが、上手にリードできました。※9月の様子 → → → → → → → →



〈互いを尊重し、高め合う集団の育成のための取組として〉

- アセス(注1)やいじめアンケートを基にした教育相談等を通して、学級の人間関係づくりや児童一人一人の理解を深め、問題行動の早期発見を図ります。
※ 学校生活アンケート(年2回)や「いじめアンケート」(年3回)とホットタイム(教育相談・年2回)を定期的実施しています。さらに必要に応じて面談等を行い、子どもたちの困り感に素早く対応できるようにしています。また、学級内の人間関係を見取るアセス(注1:学校適応感尺度アセスメント対応も活用して、問題傾向をいち早く察知できるようにしています。

- 道徳の授業の充実を図り、道徳の授業を公開したり、お便り等を活用したりして、家庭との連携を深めます。

※ 外部講師を招き、来年度から教科化される道徳のポイントを学びました。(8月)また、9月に全校で道徳の学習参観を実施し、親子で道徳の話題を共有する場を設定しました。※8月の様子 → → → → → →



〈豊かな心の育成の取組についての評価結果〉

項目数	教育活動・運営活動での取組と評価基準	実態	評価結果
①	□学級会での話し合いや決まった活動に、進んで取り組みましたか」の肯定評価が、85%以上。	児童アンケート 96%	A
②	□学校生活アンケートで、「友だちと力を合わせて活動することが好きですか」の肯定評価が、90%以上	児童アンケート 99%	A

〈2学期に向けて〉

- ◎ 学校生活アンケートでは、90%以上の子どもたちが「クラスの活動に進んで取り組んだり、「友だちと力を合わせて活動することが好き」だと感じているようです。このよさが継続するよう2学期も支援の継続を図っていきます。
- ◎ 「学校生活アンケート」(7月実施)や「いじめアンケート」(5月・9月)では、低学年を中心に、乱暴な言葉遣いから友達関係のトラブルが発生する事例がしばしば見られました。一つ一つの訴えに、素早く、丁寧に対応していくことで、失敗を次に生かす指導を継続しています。夏休み以降は、減少してきてはいますが、引き続き注意深く見守ります。
- ◎ お子様のことでご心配なことがございましたら、早めのご相談をお願いします。

体力向上の取組について

〈児童の体力向上の取組として〉

- 年2回の体力テスト強調週間を設定し、地域の指導者をお招きするなど、授業での体づくりや体力向上のための補強運動を工夫します。
※ 第1回体力テスト強調週間並びに佐潟レイカーズ様によるボール投げ指導(6月下旬)第2回目は11月の予定です。
- 全校で取り組む体力向上旬間を年3回実施します。
※ お昼の放送での意欲喚起(体育委員会)や、体育館の諸表示等の工夫



〈運動好きな児童の育成の取組として〉

- 児童の運動意欲を高める環境づくりを進めます。
※ 第1回(6月下旬～7月上旬:体育委員会)、2学期(2回)



〈規則正しい生活習慣の定着を図る取組として〉

- 年4回の元気アップ週間では、「元気アップカード」を活用し、子どもたちが目標設定をし、「早寝・早起き・しっかり朝ご飯やメテアコントロール」について、よりよい生活習慣の育成を目指しています。
※ 元気アップ週間(5月・9月・11月・2月)は、自学力アップ週間と併せて実施です。
※ 10月24日に「よい歯の学校・歯運動」で、「優良校」の表彰を受けました。
・永久歯の虫歯の本数や歯肉炎等にかかっている子の数が少ないこと、併せて、保健委員会の活動や歯科指導のよさが認められました。



- 発達段階に応じた「食に関する指導」や「眠りに関する指導」を、養護教諭や学校栄養職員と協力して実施します。(年2回)
※ 「眠りに関する指導」(11月)、「食に関する指導」(6年生の献立作成:2学期)

平成29年度 体力テストの結果(50/96 全国平均よりも上回った割合 52%)									
		握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	シャトルラン	50m	立ち幅跳び	ソフトボール投げ
1年男子	全国平均	9.45	12.05	26.29	27.85	18.73	11.41	114.68	8.62
	H29年度	9.73	14.46	26.92	29.38	24.08	11.28	117.58	8.77
2年男子	全国平均	11.04	14.15	27.98	31.45	28.41	10.7	124.33	12.01
	H29年度	10.95	15.42	26.16	34.09	34.63	10.78	126.42	11.68
3年男子	全国平均	13.12	16.59	29.45	35.99	39.1	10.04	136.8	16.22
	H29年度	12	15.92	27.65	39.73	40	10.24	140.35	15.88
4年男子	全国平均	14.94	18.48	31.47	39.53	47.11	9.6	144.5	20.18
	H29年度	14.5	18.18	31.07	45.11	57.46	9.48	147.93	19.04
5年男子	全国平均	17.12	20.64	33.48	43.82	56.48	9.29	154.3	23.91
	H29年度	15.17	21.94	31.56	46.28	58.56	9.5	152.22	23.67
6年男子	全国平均	20.26	21.9	35.62	46.65	64.74	8.78	166.34	27.41
	H29年度	17.53	20.58	33.58	47.95	63.32	8.96	160.74	23.26
1年女子	全国平均	8.8	12.09	28.98	26.82	16.4	11.71	107.3	5.81
	H29年度	9	13.88	29.84	29.12	21.32	11.42	110.4	6.24
2年女子	全国平均	10.41	13.86	30.87	30.59	24.1	10.94	117.12	7.57
	H29年度	10.18	15.35	33.41	33.12	27.94	10.86	115.18	6
3年女子	全国平均	12.34	15.74	32.46	34.05	29.97	10.33	128.61	9.81
	H29年度	12.62	15.57	32.19	36.86	29.57	10.74	128.81	11.19
4年女子	全国平均	14.23	17.25	34.86	38.05	36.71	9.91	136.72	11.95
	H29年度	13.35	18.7	34.96	43.26	44.87	9.93	137.96	11.09
5年女子	全国平均	16.58	19.24	38.39	41.76	44.45	9.5	147.35	14.41
	H29年度	13.83	17.23	36.17	45.7	48.03	9.53	147.57	14.33
6年女子	全国平均	19.73	20.07	40.4	43.87	50.75	9.12	156.89	16.5
	H29年度	17.05	20	39.32	46.84	63.21	9.14	151.32	15.58

〈体力向上の取組についての評価結果〉

項目数	教育活動・運営活動での取組と評価基準	実態	評価結果
①	□体力テスト結果で、全種目について全国平均を上回っている割合を70%以上(年2回実施、2学期は重点種目)	第1回目 52%	B
②	□学校生活アンケートで、「進んで体を動かしている」の項目の肯定的評価が80%以上	児童アンケート 88%	A
③	□元気アップ週間での「早寝・早起き・しっかり朝ご飯、メテアコントロール」の目標を達成できた児童が70%以上	児童アンケート 84%	A

〈2学期に向けて〉

- ◎ 体力テストの結果は、全体の50%の児童が全国平均を上回りましたが、目標には達することができませんでした。今年重点種目として取り組んだ、「ソフトボール投げ」や「握力」は、多くの学年で伸びがみられましたが、全国平均までには届きませんでした。「長座体前屈」なども課題です。第2回目の実施に向けて、体力向上旬間等で、指導の工夫をしていきます。
- ◎ 「進んで体を動かしている」児童は88%でしたが、保護者の見取りでは79%です。学校では体を動かしているようですが、家に帰ってからは難しいようです。
- ◎ 元気アップ週間は、これからの寒くなる時期の生活の乱れが心配です。引き続きご指導をお願いします。

特別支援教育推進の取組について

- 「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」に基づく支援と、保護者・幼保中や関係機関との連携を深め、「合理的配慮」を提供します。
※ 個別の支援が必要な児童へのそれぞれの計画を作成すると共に、保護者にも目を通していただき、情報共有を図りながら進めています。

- 特別支援教育に関する校内研修の充実を図り、UDL(ユニバーサルデザイン)の視点に立った環境づくりと校内支援体制の整備を進めます。
※ 個々の予定・教具の工夫、デジタル教科書を使った授業も積極的に行っています。

- 交流及び共同学習を実施し、特別支援学級に対する理解を深めます。
※ 具体的な取組は、2学期に実施予定です。

〈特別支援教育の推進についての評価結果〉

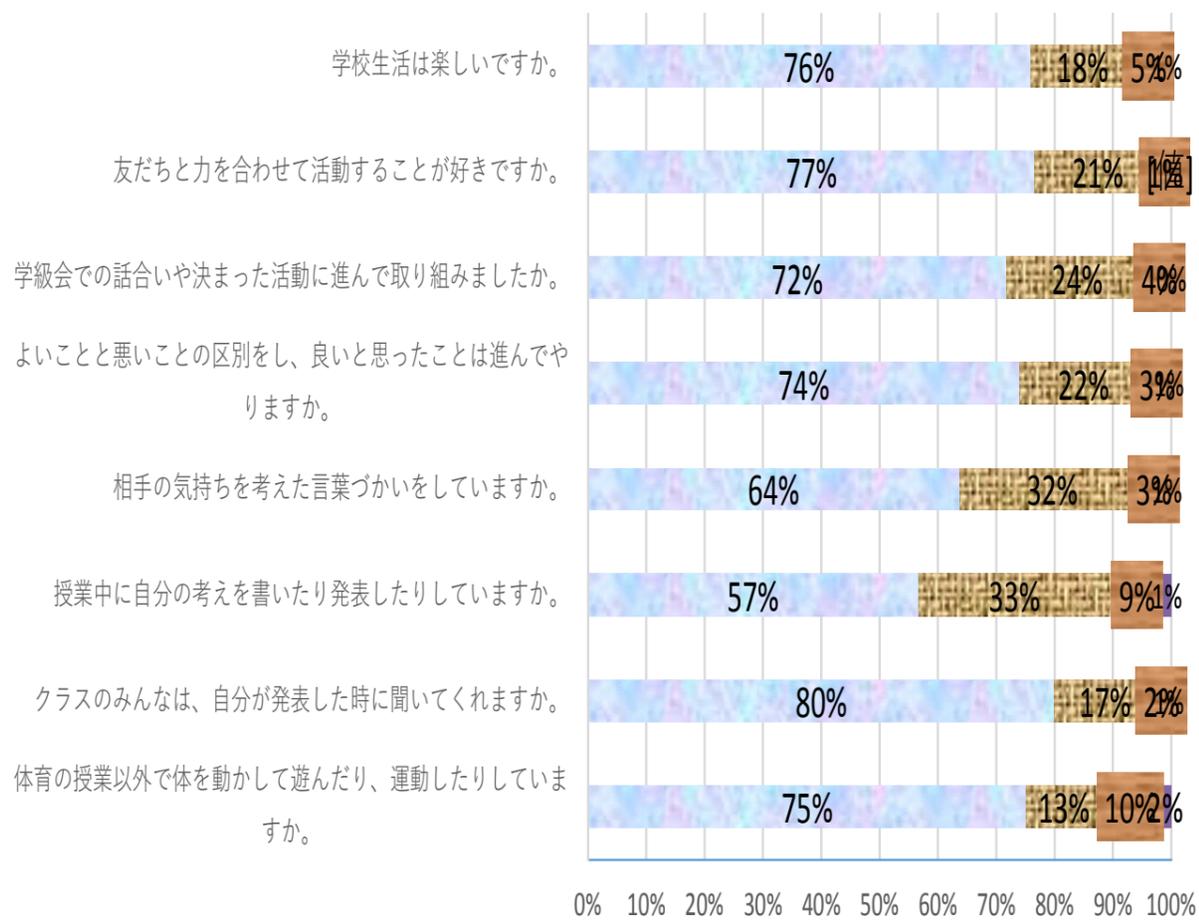
項目数	教育活動・運営活動での取組と評価基準	実態	評価結果
①	□「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」を作成し、保護者と面談・見直し・改善した教師が70%以上	100%	A
②	□休み時間の交流(わかばシアター)に参加した児童と職員が90%以上	2学期実施予定	未

〈2学期に向けて〉

- ◎ 2学期も各計画に基づく支援を継続し、交流及び共同学習の取組も進めます。

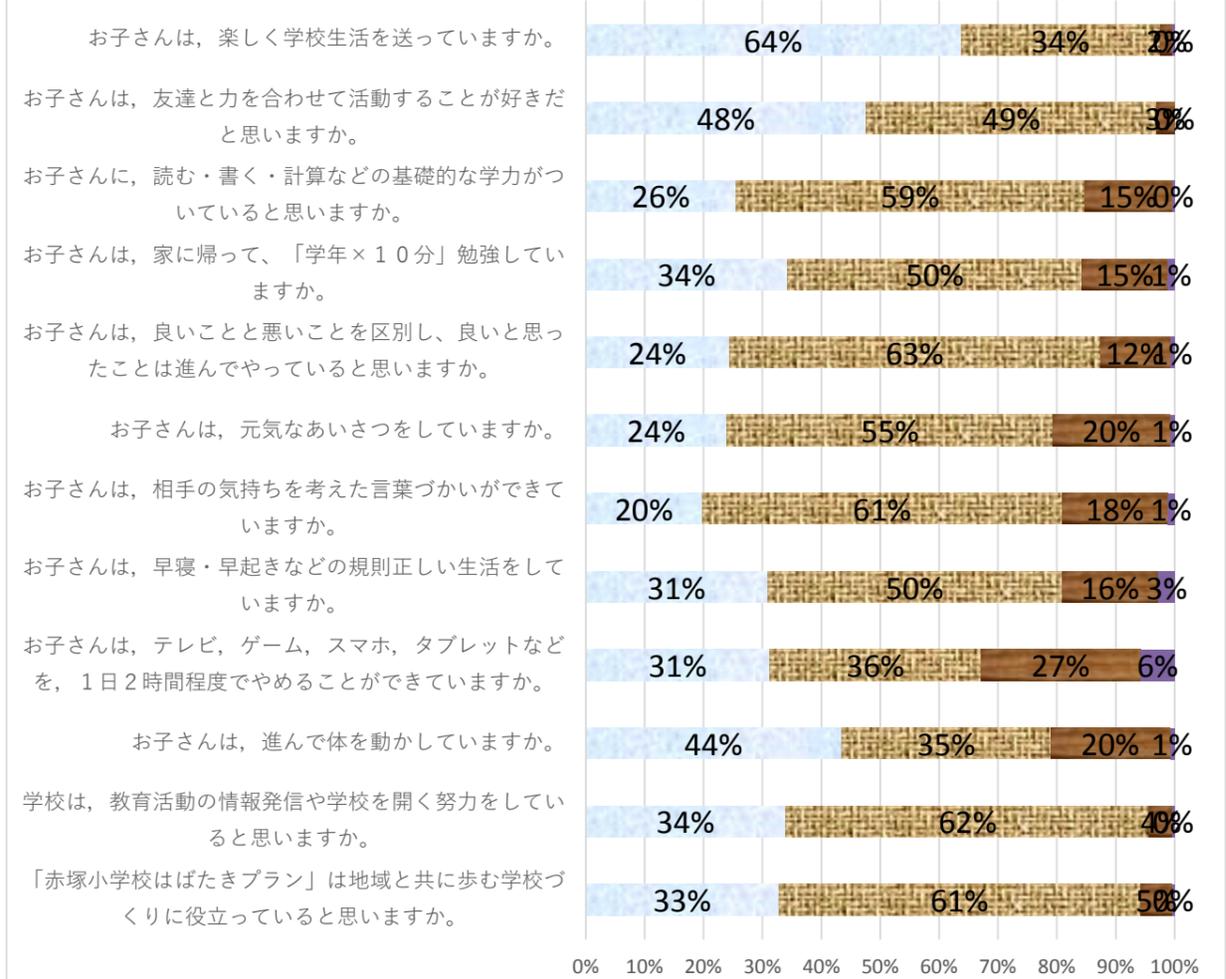
児童・保護者アンケートの結果について

学校評価 1学期 児童アンケート結果(7月実施)



※ どの項目も比較的高評価ですが、気がかりな子どもたちへのきめ細かな支援を心掛けます。

学校評価 1学期 保護者アンケート結果(7月実施)



※ 「学校生活が楽しい」、「友達と力を合わせて活動することが好き」などの項目では、比較的高評価をいただいております。ですが、「挨拶」や「言葉遣い」、「規則正しい生活」等の項目では、今後も、「その大切さに気づかせる指導」を学校と家庭が手を取り合って継続していく必要があるようです。特に「メディアコントロール」は、昨年度に引き続き、一番の課題のようです。秋の夜長、ゲームやネットに流されないで、家族皆でスポーツや登山で汗を流す、団らんの時間を大切にするなどに加えて、読書やニュース・新聞などにも興味・関心を持たせるなど、中学年ぐらいから大切にしたいです。メディアコントロールに関しては、「ネチケツ」や「危険性」などについてもお子様としっかり話し合い我が家のルールを守らせるよう、定期的な状況確認や見守りをお願いします。

【学校評議員会報告】

- 学校評価活動について、外部の有識者の方々からご意見をいただく場としての「学校評議員会」を、年2回開催しております。そこで話し合われたことの概要をお知らせいたします。

- | | |
|---------------------|------------------------------------|
| 1 期日 平成29年11月14日(火) | 3 いただいたご意見・ご指導等 |
| 2 参加者(学校:校長・教頭・教務) | ・学校に楽しく通っているようで、とてもよい。 |
| ・赤塚連合自治会長 石黒 伸夫 様 | ・いじめへの対応等、今後も一人一人の児童に寄り添って指導してほしい。 |
| ・セーフティスタッフ 小杉 靖史 様 | ・アンケートの評価は他の項目との相関関係も見取るとよい。 |
| ・赤塚小同窓会長 小竹 光浩 様 | ・SNSのトラブル等、家庭との連携を大切に。 |
| ・国際情報大学准教授 小宮山智志 様 | |
| ・赤塚小PTA会長 石川 高二 様 | |